

長野市南長野運動公園スタジアム照明ＬＥＤ化事業
公募型プロポーザル
— 審査基準 —

令和７年１月



長野市

目 次

第 1	総則	1
1	本書の位置付け	1
第 2	審査方法	1
1	審査の方法	1
2	審査の流れ	1
3	審査の手順	2
	(1) 参加資格の確認	2
	(2) 技術提案書審査	2
	(3) 最優秀者及び次点者の選定	3
4	審査結果の通知及び公表	3
	(1) 審査結果の通知	3
	(2) 審査結果の公表	3
別表 1	評価項目に対する評価事項と配点	4
別表 2	評価基準の凡例	5

第 1 総則

1 本書の位置付け

この審査基準は、長野市（以下「市」という。）が長野市南長野運動公園スタジアム照明LED化事業公募型プロポーザル（以下「本プロポーザル」という。）において、最優秀者を適正に選定するための基準を示すものである。

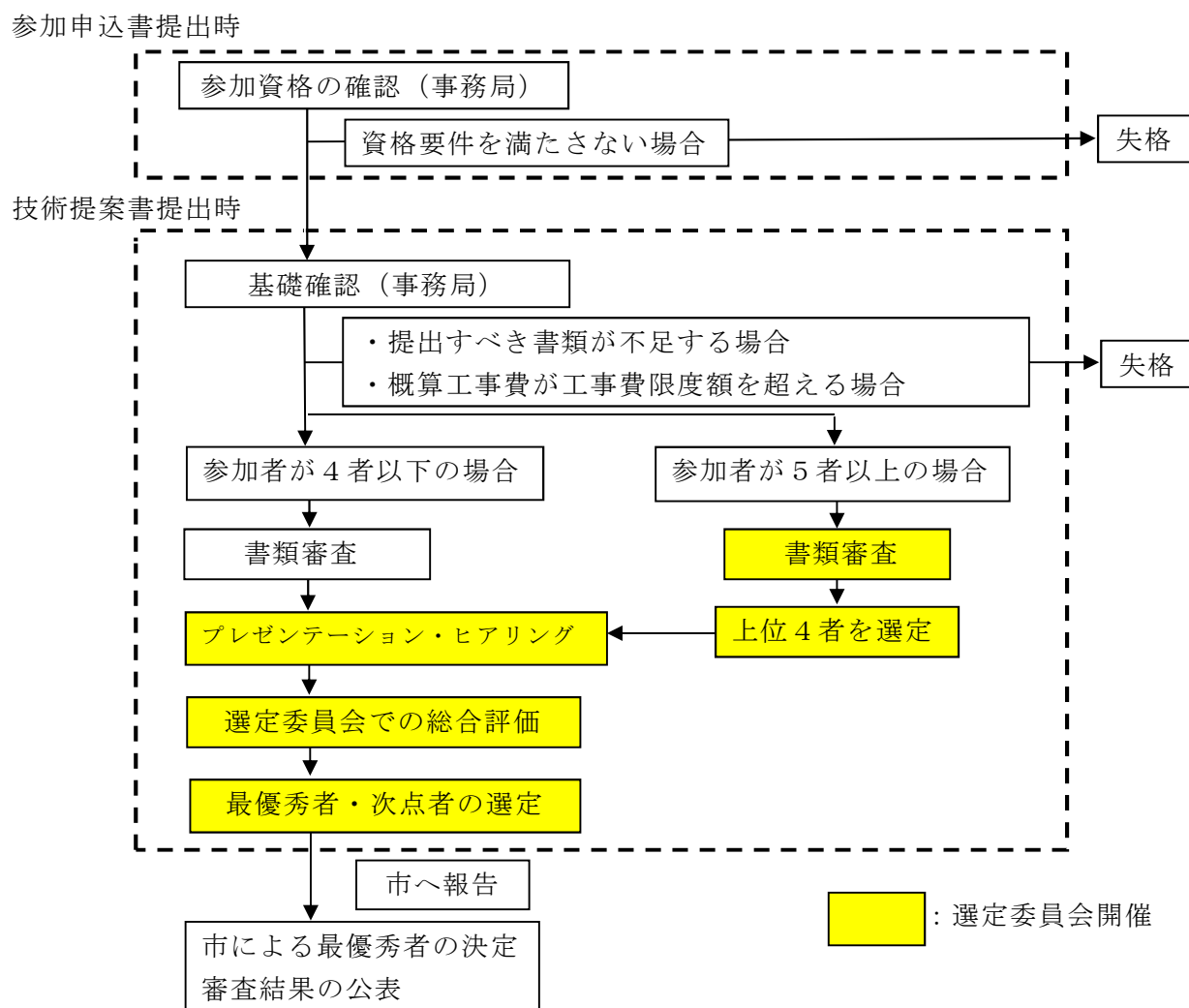
第 2 審査方法

1 審査の方法

審査は、長野市南長野運動公園スタジアム照明LED化事業施工者選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、本書に示す審査基準に基づき、本プロポーザルに参加しようとする者（以下「参加者」という。）から提出された技術提案書等について総合的な審査を行い、最も優れた技術提案を行った参加者を最優秀者として選定する。

2 審査の流れ

審査の流れは、以下に示すとおりである。



3 審査の手順

(1) 参加資格の確認

市は、参加者から提出される参加申込書等に関する書類をもとに、参加者が満たすべき参加資格要件について確認を行う。その結果、参加要件に適合している参加者に対して、技術提案書の提出を求める。なお、参加資格を満たさない場合は、失格とする。

(2) 技術提案書審査

ア. 基礎確認

- ・市は、参加者に求めた技術提案書類がすべて揃っていることを確認する。提出書類が不備の場合は、失格とする。
- ・市は、概算工事費が工事費限度額を超えていないことを確認する。概算工事費が工事費限度額を超える場合は、失格とする。
- ・市は、技術提案書類に記載された内容が、実施要領及び様式集に示す技術提案書の作成に関する条件について違反の無いことを確認する。提出書類が作成方法を満たさない場合は、失格とする。

イ. 書類審査

市は提出された技術提案書等の書類審査用資料を各選定委員に送付する。各選定委員は、技術提案書の読み込みと書類審査及び仮評価を行う。なお、参加者が5人以上の場合は、選定委員会を臨時に開催し、別表1の評価基準に基づき書類審査を行い、プレゼンテーション及びヒアリング等を行う上位4者を選定する。その他の者は、プレゼンテーション及びヒアリング等を行わない。

ウ. 総合評価

選定委員会は、参加者から提出された技術提案書、プレゼンテーション及びヒアリング等により、別表1の評価項目の内容について各項目の評価事項の審査を行い、合計得点（最高得点100点）を算出する。なお、選定委員会の各委員がそれぞれ審査を行い採点する。また、事前に仮評価したものをプレゼンテーション及びヒアリングにより確認したうえで、総合的に審査する。

エ. プレゼンテーションの実施

選定委員会は総合評価を行うにあたり、提出された技術提案書に対する補足説明及び質疑応答を求めるため、プレゼンテーションを実施する。参加者は技術提案書等に基づきパワーポイント等を活用してプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションは技術提案書の補足説明であり、提出書類にない提案を新たに盛り込み説明することはできない。

※開催日時、場所、プレゼンテーションの持ち時間、質疑応答時間、参加人数、参加者で用意するもの等の詳細については、別途、参加者に通知する。

(3) 最優秀者及び次点者の選定

選定委員会は、委員毎の合計得点から下記により最優秀者、次点者を選定する。

- ア. 委員毎に合計得点の高い順に参加者の順位を決定する。
- イ. 順位により順位得点を配点する（順位得点は「第1位」2点、「第2位」1点）。
なお、1人の委員において、複数の参加者の合計得点と同点となった場合は、順位得点を按分する（例：1位に2者並んだ場合は、 $(2+1) \text{ 点} \div 2 = 1.5 \text{ 点}$ ずつを2者に付す）。
- ウ. 各委員の順位得点を集計し、得点が最も高い参加者を「最優秀者」、その次に高い参加者を「次点者」として選定する。ただし、得点が最も高い参加者が複数ある場合は、工事費見積額の金額が最も低い者を選定する。それにより決しない場合は、該当者によるくじにより決定するものとする。

4 審査結果の通知及び公表

(1) 審査結果の通知

市は、選定委員会の審査結果を踏まえ、最優秀者を決定する。

なお、審査の結果は全ての参加者に書面にて郵送するとともに、電子メールにて通知する。

(2) 審査結果の公表

本プロポーザルにおける選定結果の公表範囲は、以下のとおりで、市のホームページにて公表する。

- ア. 参加者数
- イ. 最優秀者及び次点者の名称
- ウ. 最優秀者及び次点者の順位得点
- エ. 審査結果の講評

別表 1 評価項目に対する評価事項と配点

評価項目		評価事項	配点及び 評価基準	合計
実績	納入実績 様式 5-1	メーカーの納入実績について 使用するメーカーのスタジアム照明 L E D 化を行った施設の提示 ・プロ野球公式戦を行うスタジアムにおいてスタジアム照明 L E D 化の納入実績があるメーカーの製品である ・公益財団法人日本サッカー協会が定める「スタジアム標準」で規定した、クラス S またはクラス I のスタジアムにおいてスタジアム照明 L E D 化の納入実績があるメーカーの製品である	10 点満点 各スタジアム 2 施設以上/5.0、 1 施設/3.0、 なし/0.0	/70.0
提案項目	施工上の 課題 様式 5-2	ア 総合仮設計画について ・施設利用制限範囲とその期間に関する提案 ・高所作業における施工時の安全性の確保等に関する提案	15 点満点 特優/15.0、 優/12.0、 普/9.0、 やや劣/4.0 劣/0.0	
		イ 工程管理について ・週休 2 日を基本とし、土日祝日を休工としたうえで、品質を確保し、照明不点期間を短縮（早期完成）する提案		
		ウ 落雷への対策について ・雷の影響を受けにくい製品の採用 ・落雷による被害を最小限に留める施工方法及び早期復旧に対する提案		
		エ その他について ・施工上特に注意すべき事項とその解決策の提案		
	環境への 負荷低減 に関する 提案 様式 5-3	ア 消費電力の削減について 算定式 得点 = 配点 (10 点) × (最小消費電力量 提案者の消費電力量/当該応募者の 消費電力量) ※消費電力量は各スタジアムの合計消費電力量とする ※算定式により得点を算出し、小数点第3位を切り捨てし、小数点第2位まで求めたも	10 点満点 算定式による	

		のを評価点とする		
		イ 照明器具の耐用年数（無償保証期間）について 算定式 $\text{得点} = \text{配点（5点）} \times \left(\frac{\text{当該応募者の耐用年数}}{\text{最長耐用年数提案者の耐用年数}} \right)$ ※耐用年数は今回使用する照明器具の耐用年数が最も短いものとする ※算定式により得点を算出し、小数点第3位を切り捨てし、小数点第2位まで求めたものを評価点とする	5 点満点 算定式による	
		イ 保証条件については定性評価とし加減点する	5 点満点 特優/5.0、 優/3.0、 普/0.0、 やや劣/-3.0 劣/-5.0	
	演出制御 （本事業外） 様式 5-4	演出制御（拡張性）について 本事業で演出制御は実施しないが、将来演出制御を行う場合の設備・システム、演出イメージ及び工事費に関する提案 ・ Jリーグの公式戦の演出として適切か ・ Jリーグ公式戦の運営事業者の持ち込み機器を想定しているか ・ 将来行う追加工事費が少額であるか	25 点満点 特優/25.0、 優/20.0、 普/15.0、 やや劣/8.0 劣/0.0	
価格項目	工事費 様式 7-1 様式 7-2	工事費見積書及び工事費見積内訳書の適正さについて ・ 提案縮減工事費 ・ 工事費縮減の取組及びその具体性、実現性 算定式 $\text{得点} = \text{配点（30 点）} \times \left(\frac{\text{最も低い工事業費}}{\text{当該応募者の工事業費}} \right)$ ※算定式により得点を算出し、小数点第 3 位を切り捨てし、小数点第 2 位まで求めたものを評価点とする	30 点満点 算定式による	/30.0
合計				
				100

補足説明

・色付き部分は定量評価を示す

別表 2 評価基準の凡例

項目	項目の評価
特優	具体的な提案の的確性・実現性が極めて優れている
優	具体的な提案の的確性・実現性が十分に考慮され、優れている
普	具体的な提案の的確性・実現性が考慮されており、ほぼ満足できる
やや劣	具体的な提案の的確性・実現性が考慮されているが、不足である
劣	具体的な提案の的確性・実現性がほとんど考慮されておらず、極めて不足である